

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解させる。 人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促す。 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 #N/A	教科書	現代の倫理(山川出版)
講座名	倫理演習	科目名	倫理			副教材	テオーリア最新 倫理資料集(第一学習社) #N/A
単位数	2単位	区 分	演習系				
年 次	3年次	形 態	選択				
担当者名	島倉						

学校行事	第1学期	遠足	＜第1定期考査＞	＜第2定期考査＞	第2学期	木もれ陽祭	＜第3定期考査＞	＜第4定期考査＞	第3学期	＜第5定期考査＞
授業内容	ギリシア哲学			仏教	夏季休業期間	日本の近代化と西洋思想	近代の理性的人間像		冬季休業期間	#N/A
	古代中国の思想			古代日本人の思想	青年期	ルネサンスと宗教改革	資本主義と社会主義		センター及び二次対策	#N/A
	ユダヤ教			日本仏教	生命倫理	自然と科学技術	功利主義とプラグマティズム	#N/A		#N/A
	キリスト教			日本儒教	環境倫理	民主社会の成立	実存主義	#N/A		#N/A
	イスラム教				情報社会		ヒューマニズム	#N/A		#N/A
	#N/A			#N/A	国際平和と人類の福祉		新しい知性と現代の思想	#N/A		#N/A
	#N/A			#N/A		#N/A	#N/A			#N/A
	#N/A			#N/A		#N/A	#N/A			#N/A
定期考査までの授業数	時間			時間		時間	時間		時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト	1学期課題テスト 実施予定日・範囲		1学期実力テスト 実施予定日・範囲		2学期課題テスト 実施予定日・範囲		2学期実力テスト 実施予定日・範囲		3学期課題テスト 実施予定日・範囲		3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
		#N/A		#N/A		#N/A	1,2年生 9月13日 10月30日	#N/A		#N/A		#N/A
	課題テスト 1年生 4月10日 2年生 4月10日 3年生 4月10日	#N/A	1,2年生 7月6日	#N/A	課題テスト 1年生 8月26日 2年生 8月26日 3年生 8月26日	#N/A	3年生 10月5日 10月30日	#N/A	課題テスト 1年生 1月8日 2年生 1月8日	#N/A	1,2年生 1月17日 1月18日	#N/A
		#N/A	3年生 4月24日 5月24, 25日	#N/A		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A
		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A

評価の観点 評価方法	社会と人間に関わる事項に関心を持ち、正しい理解と知識を持って、広い視野から深く考察できているか否かを評価する。 定期考査、小テスト、レポート等提出物、授業態度等により評価する。	日常の 学習方法	①授業中 他の授業と特に変わるものはない。普通に組み組めばよい。授業内容を自らの課題として考えるようにすると実り豊かな授業になる可能性がある。 ②家庭学習 宿題レポート等が出た時はしっかりと取り組む。	大学受験や 発展的な内容との関連	「倫理」はセンターテストの一教科として在るが点数化する試験にはなかなかなじまないものである。

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	①日本史の展開を総合的に考察し、我が国の文化についての認識を深める。 ②わが国の近世から現代への歴史的展開を国際的な視野も考慮し、総合的に理解させる。 ③わが国の伝統的文化の特色について、理解と認識を深めさせる。 ④通史終了後は、テーマ史学習によりさまざまな視点から応用的な理解力を深めさせる。	教科書	詳説日本史B（山川出版社）	
講座名	日本史B	科目名	日本史B			副教材	新詳日本史地図・資料・年表（浜島書店）	
単位数	4単位	区 分	基礎系				改訂版詳録新日本史史料集成（第一学習社）	
年 次	3年次	形 態	選択				ウィニングコンパス日本史の整理と演習（とうほう）	
担当者名	1 組	2 組	3 組			4 組	5 組	6 組

学校行事	第 1 学期	遠 足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	・年間の授業について		日露戦争と国際関係		夏季休業期間	第一次世界大戦と日本		恐慌の時代	冬季休業期間	センター試験対策
	開国と幕末の動乱		近代産業の発展		夏期講習	ワシントン体制		軍部の台頭	冬期講習	私大・国公立二次対策
	明治維新と富国強兵		近代文化の発達			市民生活の変容と大衆文化		第二次世界大戦		
	立憲国家の成立と日清戦争							既習内容の復習と問題演習		
								センター試験対策		
定期考査までの授業数	時間		時間			時間		時間		時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト										

評価の観点 評価方法	①基本事項(重要事件・人物・場所・年など)をきちんと理解しているか。 ②事件の背景等を歴史の流れにそって的確に理解しているか。 ③様々な歴史的事実に対して自分なりにその意味・意義を考察できるか。 ④単なる過去の出来事としてではなく、現代の国際社会の状況・出来事に結びつけてとらえることができるか。 ⑤定期考査、課題(レポート)等の提出物、授業態度などにより評価する。	日常の 学習方法	①教科書を熟読することが大切。文系学習の基本は読本(授業の場合は教科書)から。教科書がボロボロになるまで使い込むこと。 ②授業中、黒板に書かれたこと以外でも話を聞きしっかりメモをとる。手先を使い文字を書くことや、メモをとる行為は脳を刺激し君の頭を賢くしてくれる。 ③配布された資料などもよく読んで、日頃から自ら考え問題を発見するように努める。それを進歩と言う。 ④幅広い知的関心をもつためにも、様々なメディアを通じて歴史を知る。地域の歴史的文化遺産にも触れてみることも大切である。	大学受験や 発展的な内容との関連	センター試験をはじめ、最近の大学入試問題では、全時代・全分野を対象とする総合問題・混合問題の出題頻度が高い。②近代・現代史の出題が増加傾向にある。③史料・写真・グラフを使用した問題が比較的多く採用されている。
---------------	---	-------------	---	---------------------	--

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	①日本史の展開を総合的に考察し、我が国の文化についての認識を深める。 ②わが国の原始・古代から中世への展開を世界史的な視野に立って、総合的に理解させる。 ③歴史事項の暗記ではなく、物事を歴史的に理解する視点と力を身につける。 ④事件・事柄の丸暗記ではなく、歴史的経過・流れを理解する。	教科書	詳説日本史（山川出版社）	
講座名	日本史B	科目名	日本史B			副教材	新詳日本史地図・資料・年表（浜島書店）	
単位数	2単位	区 分	必履修					
年 次	1年次	形 態	クラス単位					
担当者名	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	日本史学習へのアプローチ	古墳の出現		夏季休業期間	平安王朝の形成	地方政治の展開		冬季休業期間	鎌倉幕府の成立	
	日本の旧石器時代	古墳とヤマト政権		夏期講習	古代の東北経営	武士の成長		冬期講習	武士の社会と承久の乱	
	縄文文化の成立	確認小テスト		課題	弘仁・貞観文化	確認小テスト		課題	確認小テスト	
	確認小テスト	律令国家の建設			確認小テスト	10世紀前後の土地政策			蒙古襲来と幕府の衰退	
	農耕社会の成立と弥生文化	律令国家と平城京の時代			摂関政治	院政と平氏の台頭			鎌倉文化（鎌倉新仏教）	
	小国の分立・邪馬台国連合	確認小テスト			国風文化	平氏政権と院政期の文化			鎌倉文化（文学と芸術）	
	確認小テスト	天平文化			確認小テスト	確認小テスト			確認小テスト	
	第一定期考査	第二定期考査			第三定期考査	第四定期考査			第五定期考査	
定期考査までの授業数	時間		時間		時間		時間		時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト										

評価の観点 評価方法	①基本事項(重要事件・人物・場所・年など)をきちんと理解しているか。 ②事件の背景等を歴史の流れにそって的確に理解しているか。 ③様々な歴史的事実に対して自分なりにその意味・意義を考察できるか。 ④単なる過去の出来事としてではなく、現代の国際社会の状況・出来事に結びつけてとらえることができるか。 ⑤定期考査、小テスト、課題(レポート)等の提出物、授業態度などにより評価する。	日常の 学習方法	①教科書を熟読することが大切。文系学習の基本は本(授業の場合は教科書)を読むことから。教科書がボロボロになるまで使い込むこと。東大・一橋大・早慶大でも1冊の教科書で間に合う。 ②授業中、黒板に書かれたこと以外にも、話を聞きしっかりメモをとる。手先を使い文字を書く。メモをとる行為は脳を刺激し君の頭を賢くしてくれる。 ③配布された資料などもよく読んで、日頃から自ら考え問題を発見するように努める。それを進歩と言う。 ④幅広い知的関心をもつためにも、様々なメディアを通じて歴史を知る。地域の歴史的文化遺産にも触れてみることも大切である。	大学受験や 発展的な内容との関連	大学入試への基礎となる歴史的知識を確実に獲得し、2, 3年次の授業につなげる。
---------------	--	-------------	---	---------------------	---

令和３年度(2021年度)授業計画				目 標	地理の見方考え方を定着させ、それに関する入試問題の解法を身に付けさせる。 獲得した知識を活用して思考し、共通テストの問題を解くことができる学力を養う。	教科書	新詳地理B 帝国書院	
講座名	地理B演習	科目名	地理演習			副教材	最新地理図表GEO	
単位数	4単位	区 分	自由選択					
年 次	3年次	形 態	小人数					
担当者名	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	実施しない	自然分野 地形 自然 系統分野 農業 資源・エネルギー	夏季休業期間	実施しない	全範囲 共通テスト予想問題	冬季休業期間	実施しない			
			地図読解集中講義			問題演習講習				
定期考査までの授業数	時間	時間		時間	時間		時間			

実力テスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。
---------------	-----------------------------------

日常の 学習方法	講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。
-------------	--------------------------------------

大学受験や 発展的な内容との関連	共通テストに特化した授業を行う。
---------------------	------------------

令和３年度(2021年度)授業計画				目 標	地理の見方考え方を定着させ、それに関する入試問題の解法を身に付けさせる。 獲得した知識を活用して思考し、共通テストの問題を解くことができる学力を養う。	教科書	新詳地理B 帝国書院	
講座名	地理B演習	科目名	地理演習			副教材	最新地理図表GEO	
単位数	4単位	区 分	自由選択					
年 次	3年次	形 態	小人数					
担当者名	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	実施しない			自然分野	夏季休業期間	実施しない	全範囲	冬季休業期間		実施しない
				地形						
				自然	地図読解集中講義		共通テスト予想問題	問題演習講習		
				系統分野						
				農業						
				資源・エネルギー						
定期考査までの授業数	時間			時間		時間	時間		時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。
---------------	-----------------------------------

日常の 学習方法	講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。
-------------	--------------------------------------

大学受験や 発展的な内容との関連	共通テストに特化した授業を行う。
---------------------	------------------

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。 2年次の学習を基礎に古代から近現代までの理解を深める。 共通テスト及び国公立大二次・私大等4年制大学入試に対応する。 基礎力の充実をはかるとともに論述問題に対応しうる学力をつける。	教科書	詳説世界史B（山川出版社）
講座名	世界史演習	科目名	世界演習			副教材	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） ウイニングコンパス世界史の整理と演習（とうほう） 世界史用語集(山川出版社)
単位数	2単位	区 分	自由選択				
年 次	3年次	形 態	少人数				
担当者名	1組～8組 増元						

学校行事	第1学期	遠足	＜第1定期考査＞	＜第2定期考査＞	第2学期	木もれ陽祭	＜第3定期考査＞	＜第4定期考査＞	第3学期	＜第5定期考査＞
授業内容	帝国主義と列強の展開	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国		夏季休業期間	世界恐慌とファシズム諸国の侵略	イスラームと内陸アジア		冬季休業期間		
	世界分割と列強対立	アジア・アフリカ民族主義の進展			第二次世界大戦	近代ヨーロッパとアメリカ				
	アジア諸国の改革と民族運動					帝国主義				
	第一次世界大戦とロシア革命				古代の世界	二つの大戦				
	第一定期考査	第二定期考査			ヨーロッパ世界	冷戦とその後				
定期考査までの授業数	時間		時間		時間	時間			時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト										

評価の観点 評価方法	①基本事項（重要事件・人物・場所・年など）をきちんと理解しているか。 ②事件の背景等を歴史の流れにそって的確に理解しているか ③様々な歴史的事実に対して自分なりにその意味・意義を考えることができるか。 ④単なる過去の出来事としてではなく、現代の国際社会の状況・出来事に結びつけてとらえることができるか。 ⑤授業内での演習	日常の 学習方法	①授業中 講義と演習を交えた授業になる。2年次(2学期は3年次)の学習内容を復習してくることを前提として進める。 ②家庭学習 教科書とノート・プリントによる2年次の学習内容の復習は必須である。加えて小テストや問題集をこなして授業に臨む必要がある。	大学受験や 発展的な内容との関連	共通テスト・二次試験・私大の問題を扱うので受験に直結する。
---------------	--	-------------	--	---------------------	-------------------------------

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	世界史を学ぶ楽しさ・面白さを追求する。 受講者各人の歴史観=世界観・人生観=価値観の形成を促す。 広大な時空間の中で現代社会を認識できるようにする。 事件・事柄の丸暗記ではなく、歴史的経過・流れを理解する。	教科書	詳説 世界史B 改訂版（山川出版社）
講座名	世界史B（2年必修）	科目名	世界史B			副教材	NEW STAGE世界史詳覧（浜島書店） ウィニングコンパス・世界史の整理と演習2020（とうほう）
単位数	2単位	区 分	必履修				
年 次	2年次	形 態	クラス単位				
担当者名	1～5組 松 岡 6～8組 嶺 脇						

学校行事	第1学期 遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>		第2学期 木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>		第3学期 <第5定期考査>
授業内容	導入 地域世界の特質	フランス革命とナポレオン	夏季休業期間	ヨーロッパの再編	オスマン帝国支配の動揺とアラブのめざめ	冬季休業期間	東アジアの激動
	産業革命 アメリカ独立革命	ウィーン体制		アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米の文化	南アジア・東南アジアの植民地化		帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動 第一次世界大戦
第一定期考査							
		第二定期考査		第三定期考査	第四定期考査		第五定期考査
定期考査までの授業数	時間	時間		時間	時間		時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト							

評価の観点 評価方法	○基本事項（重要事件、人物、場所、年など）をきちんと理解しているか。 ○事件の背景等を歴史の流れにそって的確に理解しているか。 ○様々な歴史的出来事に対して、自分なりにその意味・意義を考えることができるか。 ○現代社会の状況、出来事との対比、関連性を意識しているか。 定期考査、小テスト、課題（レポート）等の提出物、授業の出欠席・態度などを総合して評価する。	日常の 学習方法	①授業中 教科書、プリント、資料等を参照しながらの講義中心の授業になるが、社会科教室等でのＡＶ教材を用いた授業も行う。 ②家庭学習 予習：教科書を読む 復習：授業時に学習した内容を整理して次の授業にのぞむようにする。	大学受験や 発展的な内容との関連	授業の内容は、大学受験の基本・基礎となるものである。センター試験での高得点をねらうか、二次試験・私大受験を希望する生徒は3年次の選択講座を履修する必要がある。「世界史B」を受験科目に決めていない生徒にも有用な授業であるので、楽しみつつ、真剣に臨んでほしい。
---------------	---	-------------	---	---------------------	--

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。 文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させる。 大学入学共通テスト及び国公立大二次・難関私大入試に対応する。 基礎力の充実をはかるとともに論述問題に対応しうる学力をつける。	教科書	詳説 世界史B 改訂版（山川出版社）
講座名	世界史B（2年選択）	科目名	世界史B			副教材	NEW STAGE世界史詳覧（浜島書店） ウィニングコンパス・世界史の整理と演習2021（とうほう） 世界史用語集 改訂版（山川出版社）
単位数	2単位	区 分	選択学校必修				
年 次	2年次	形 態	少人数				
担当者名	1・2組 松岡 3・4組 松岡 5・6組 松岡						

学校行事	第1学期	遠足	＜第1定期考査＞	＜第2定期考査＞	第2学期	木もれ陽祭	＜第3定期考査＞	＜第4定期考査＞	第3学期	＜第5定期考査＞
授業内容	導入、先史時代			ギリシア世界	夏季休業期間	インドの古典文明		南北アメリカ文明	冬季休業期間	イスラーム世界の形成
	古代オリエント世界			ローマ世界		東南アジアの諸文明		草原の遊牧民とオアシスの定住民		イスラーム世界の発展
						中国の古典文明		北方民族の活動と中国の分裂		インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化
								東アジア文化圏の形成		イスラーム文明の発展
										西ヨーロッパ世界の成立
										東ヨーロッパ世界の成立
	第一定期考査			第二定期考査		第三定期考査		第四定期考査		第五定期考査
定期考査までの授業数	時間		時間			時間		時間		時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト										

評価の観点 評価方法	①基本事項（重要事件・人物・場所・年など）をきちんと理解しているか。 ②事件の背景等を歴史の流れにそって的確に理解しているか。 ③様々な歴史的事実に対して自分なりにその意味・意義を考えることができるか。 ④単なる過去の出来事としてではなく、現代の国際社会の状況・出来事に結びつけてとらえることができるか。 ⑤定期考査、小テスト、課題等の提出物、授業態度などにより評価する。	日常の 学習方法	①授業中 教科書、プリント、資料等を参照しながら講義中心の授業を行う。 ②家庭学習 予習：教科書を読む 復習：授業時に学習した内容を整理・演習して次の授業にのぞむようにする。	大学受験や 発展的な内容との関連	授業の内容は、大学受験の基本・基礎となるものである。大学入学共通テストでの高得点を狙い、二次試験・私大受験を希望する生徒を対象としているので、積極的な学習が必要である。
---------------	--	-------------	--	---------------------	--

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	現代社会の様々な課題を政治・経済・社会・文化・生活など様々な観点から理解させる。 課題解決のためにはどうあるべきか等について多角的に考える基礎力を養う。 問題意識を持って自ら調べ、様々な角度から検討し、自分の考えを持つ能力を伸ばす。 民主的な社会の構成員としての資質と能力を身につける。	教科書	高等学校 現代社会（第一学習社）	
講座名	現代社会	科目名	現代社会			副教材	最新図説現社（浜島書店）	
単位数	2単位	区 分	必修				高等学校 現代社会（第一学習社）	
年 次	2年次	形 態	クラス単位				最新図説現社（浜島書店）	
担当者名	1 組 山下	2 組 島倉	3 組 山下	4 組 山下	5 組 島倉	6 組 山下	7 組 島倉	8 組 島倉

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	民主政治における個人と国家		世界のおもな政治体制	夏季休業期間	平和主義と安全保障		基本的人権の保障と新しい人権		冬季休業期間	現代の企業
	基本的人権と法の支配		国民主権と議会制民主主義	#N/A	基本的人権の保障と新しい人権		地方自治と住民の福祉		#N/A	市場経済のしくみ
			内閣と行政の民主化	#N/A			世論形成と政治参加		#N/A	経済成長と景気変動
			裁判所と人権保障	#N/A			経済社会と経済体制		#N/A	政府の経済的役割と租税の意義
			日本国憲法の基本原理	#N/A	#N/A		#N/A		#N/A	金融機関のはたらき
	#N/A		#N/A	#N/A	#N/A		#N/A		#N/A	表現（意見文）
	#N/A		#N/A		#N/A		#N/A			#N/A
	#N/A		#N/A		#N/A		#N/A			#N/A
定期考査までの授業数	6 時間		12 時間				12 時間		12 時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト	1 学期課題テスト 実施予定日・範囲		1 学期実力テスト 実施予定日・範囲		2 学期課題テスト 実施予定日・範囲		2 学期実力テスト 実施予定日・範囲		3 学期課題テスト 実施予定日・範囲		3 学期実力テスト 実施予定日・範囲	
		#N/A		#N/A		#N/A	1, 2年生 9月13日 10月30日	#N/A		#N/A		#N/A
	課題テスト 1年生 4月10日 2年生 4月10日 3年生 4月10日	#N/A	1, 2年生 7月6日	#N/A	課題テスト 1年生 8月26日 2年生 8月26日 3年生 8月26日	#N/A	3年生 10月5日 10月30日	#N/A	課題テスト 1年生 1月8日 2年生 1月8日	#N/A	1, 2年生 1月17日 1月18日	#N/A
		#N/A	3年生 4月24日 5月24, 25日	#N/A		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A
		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A		#N/A

評価の観点 評価方法	①これまでに学習してきた事柄を、自分たちの生活に結び付けて捉え直すことができるか。 ②多角的に物事を捉えるために、対立軸を考えるように設定して思考することができるか。 ③各自が問題意識をもって自ら調べ、まとめさまざまな角度から検討して自分の考えを持つことができるか。 考査評価・課題追求学習（発表など）・課題プリントへの取り組み・授業参加度などの考慮し総合的に評価する。	日常の 学習方法	①現代日本・世界の諸問題を自分たちとの関わりから多角的に調べ、自分の意見を持つ。 ②日頃から新聞を読み、ニュースを視て、時事問題に関する知識を持つ。 ③教科書・副教材を熟読して理論的に理解し、重要用語を理解した上で覚え、問題集を解く。	大学受験や 発展的な内容との関連	3学年の自由選択現代社会を履修すれば、センター試験で公民科の1科目として選択受験できる。）

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	地理の見方考え方を定着させ、それに関する入試問題の解法を身に付けさせる。 獲得した知識を活用して思考し、共通テストの問題を解くことができる学力を養う。	教科書	新詳地理B帝国書院	
講座名	地理演習	科目名	地理演習			副教材	最新地理図表GEO	
単位数	4単位	区 分	自由選択					
年 次	3年次	形 態	小人数					
担当者名	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	実施しない			自然分野	夏季休業期間	実施しない		全範囲	冬季休業期間	実施しない
				地形				共通テスト予想問題		
				自然						
				系統分野						
				農業						
				資源・エネルギー						
定期考査までの授業数	時間			時間		時間		時間		時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	知識・理解、思考力・判断力・表現力を定期テスト等を通じて評価する。
---------------	-----------------------------------

日常の 学習方法	講義形式の授業を中心とする。可能であれば問題演習やオンライン授業を行う。
-------------	--------------------------------------

大学受験や 発展的な内容との関連	共通テストに特化した授業を行う。
---------------------	------------------

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	①入試問題を利用して、多角的な日本史のとらえ方を学ぶ。 ②受講者各人の歴史観や世界観の形成を促し、人間と社会に対する洞察力を育成する。 ③歴史的事象を概観する中で、現代社会の成り立ちを理解できるようにする。 ④事件・事項の丸暗記ではなく、歴史的経過・流れを理解する。	教科書	詳説日本史B（山川出版社）	
講座名	日本史B演習	科目名	日本史B演習			副教材	新詳日本史地図・資料・年表（浜島書店）	
単位数	2単位	区 分	応用系				改訂版詳録新日本史史料集成（第一学習社）	
年 次	3年次	形 態	選択				ウィニングコンパス日本史の整理と演習（とうほう）	
担当者名	1 組	2 組	3 組			4 組	5 組	6 組

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	・年間の授業について		55年体制	夏季休業期間	冷戦の終結と日本社会の動揺		既習内容の復習と問題演習		冬季休業期間	センター試験対策
	占領と改革		経済復興から高度成長へ	夏期講習	既習内容の復習と問題演習		センター試験対策		冬期講習	私大・国公立二次対策
	冷戦の開始と講話		経済大国への道							
	実践演習		実践演習							
	第 1 定期考査		第 2 定期考査		第 3 定期考査					
定期考査までの授業数	時間		時間		時間		時間		時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト										

評価の観点 評価方法	①基本事項(重要事件・人物・場所・年など)をきちんと理解しているか。 ②事件の背景等を歴史の流れにそって的確に理解しているか。 ③様々な歴史的事実に対して自分なりにその意味・意義を考察できるか。 ④単なる過去の出来事としてではなく、現代の国際社会の状況・出来事に結びつけてとらえることができるか。 ⑤定期考査、課題(レポート)等の提出物、授業態度などにより評価する。
日常の 学習方法	①教科書を熟読することが大切。文系学習の基本は本(授業の場合は教科書)を読むことから。教科書がボロボロになるまで使い込むこと。そのことで、東大・一橋大・早慶大でも1冊の教科書で間に合うことに気づくだろう。教科書はすごい！！ ②授業中、黒板に書かれたこと以外にも、話を聞きしっかりメモをとる。手先を使い文字を書く。メモをとる行為は脳を刺激し君の頭を賢くしてくれる。 ③配布された資料などもをよく読んで、日頃から自ら考え問題を発見するように努める。それを進歩と言う。 ④幅広い知的関心をもつためにも、様々なメディアを通じて歴史を知る。地域の歴史的文化遺産にも触れてみることも大切である。
大学受験や 発展的な内容との関連	演習の内容は、大学受験の基礎基本から応用となるものである。センター試験での高得点をめざす生徒や二次試験・私大受験を希望する生徒は、3年次の選択講座を履修する必要がある。